

群馬の森における地方プラットフォームサウンディングについて

■平成30年度プラットフォームサウンディング結果（H30.9.18実施）

●本公園のサウンディング概要

- ・エリア：未活用or活用が不十分なわんぱくゾーン、未整備区域
- ・内容：公園をより活用していただくために、どのような民間事業者の参入が見込めるか模索したい

●相手方企業からの意見

- ・本公園リニューアルの程度具体的の方針を持った方がよい
 - ・方針を持ってサウンディングしないといいアイデアは出ない
 - ・ゾーニングをきちんと考えれば、民間も提案しやすい
 - ・ただ民間に何かやってほしいというだけではうまくいかない

■本公園の方針及び公園内の状況変化

- 昨年度の結果を踏まえ効果的なサウンディングを実施し、本公園への民間活力導入を推進したい

- あそびの広場に隣接していた売店が撤退（H31.3）したため、公園として当該場所に新たな便益施設などが必要と考えている

■令和元年度プラットフォームサウンディングについて

●本公園リニューアルの方針（案）を考案

- ・民間事業者に参加してもらいたいエリアを限定

【昨年】わんぱくゾーン、未整備区域

→ 【今年】あそびの広場

- ・参加してもらいたい業種を限定

【昨年】公園の活性化にはどのような提案があるか？

→ 【今年】

- ・あそびの広場に、コンビニやカフェなどの便益施設の参入を検討したい（その他業種の提案も可）
- ・便益施設に併設相乗効果を発揮する遊戯施設はどのようなものか？

※主な対象エリアは遊びの広場であるが、それ以外のエリアも可能性があるか？

